

## 蓄熱式空調システム受託制度（蓄熱受託制度）の創設について

平成12年8月31日  
北陸電力株式会社

当社では 電力負荷の平準化を推進するため、蓄熱式空調システムの普及拡大に取り組んでいます。

蓄熱式空調システムは、夜間の安い電力で熱エネルギーを蓄熱槽に蓄え昼間に利用することで、お客さまのランニングコストが低減できます。しかし、一般の空調システムと比較して蓄熱槽が必要となる分、若干初期投資が高くなります。

このため、蓄熱式空調システムの初期投資を軽減して容易に導入していただけるよう当社がお客さまの建物にセントラル方式の蓄熱式空調システムを設置し、運転・保守までを行う「蓄熱受託制度」を平成12年9月1日より創設いたします。

### 1. 制度の概要

#### (1) 仕組み

- a. お客さまに代って、当社がお客さまの建物に蓄熱式空調システムの熱源機(ヒートポンプ)、蓄熱槽などの熱源設備を設置・所有するとともに運転・保守を行い、冷暖房に必要な冷温水を供給いたします。
- b. お客さまは、これに要する総費用を契約期間にわたり毎月均等にお支払いいただきます。

#### (2) 対象のお客さま

以下の条件を満たしているお客さまを対象といたします。

- a. セントラル方式の蓄熱式空調システム
- b. 冷房最大日負荷のおおむね15%以上を負荷移行可能な空調システム
- c. 契約期間が10～15年とできること(契約期間はお客さまとの協議により決定)

### 2. 制度の主なメリット

#### (1) 初期投資の大幅な低減

熱源設備は当社が設置しますので、お客さまの初期投資は不要です。

#### (2) 年間経費の低減

割安な夜間電力を使った蓄熱式空調システムの採用により、熱源機容量が縮小でき、お客さまが負担される電気料金が大幅に低減できます。

#### (3) 運転・保守管理業務のわずらしさを解消

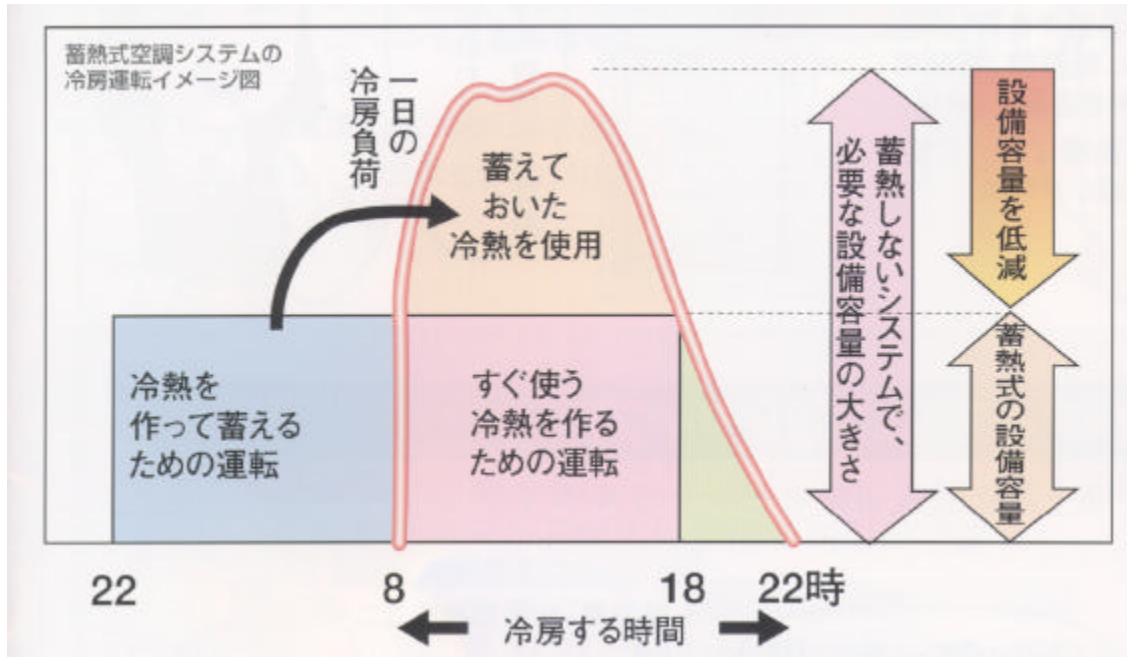
熱源設備の定期点検、維持管理業務などを当社が行いますので、お客さまの管理業務が軽減されます。

#### (4) 環境への配慮

蓄熱式空調システムは、化石燃料構成比率の低い夜間電力を使い蓄熱するため、CO<sub>2</sub>の排出量が押さえられます。また、使用場所での燃焼がないので環境性に優れています。

以上

#### <参考：蓄熱式空調システムのイメージ図>



・冷房最大日負荷とは、盛夏における図中「1日の冷房負荷」と書かれた太線の面積を指す。  
15%の負荷移行とは、そのうちの「蓄えておいた冷熱を使用」と書かれた部分が15%であることを示す。